2010年度　前期

授業コード：22299

授業科目名：臨床口腔歯科医学　　受講者数：29 名

担当教員名：伊藤　秀美　　回答者数：29 名

学　　部：医療福祉 29　総合政策 0　科学技術 0　無回答 0

学科専攻：理学療法 0　作業療法 0　言語聴覚 29　視覚機能 0　看　護 0

保健福祉 0　生活福祉 0　精神保健 0　総合政策 0　知能情報 0

人間環境 0　無回答 0

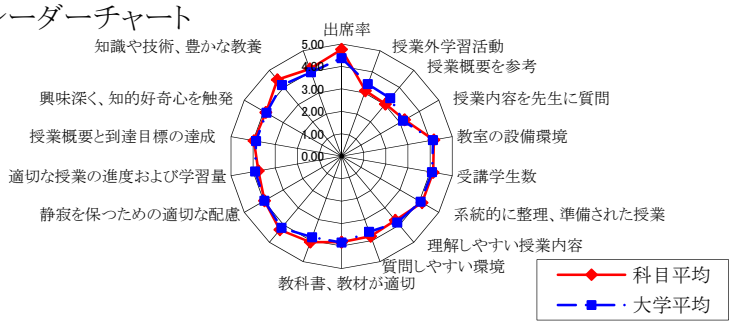
学　　年：1年 0　2年 29　3年 0　4年 0　無回答 0

設問文		5	4	3	2	1	科目平均	大学平均
A:授業への取り組みについて		そうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうとはいえない	そうとはいえない		
問1．	授業の欠席回数は何回でしたか　⑤0回 ④1～2回 ③3～4回 ②5～6回 ①7回以上	23	5	1	0	0	4.76	4.37
問2．	授業の他に学習活動（予習・復習・課題・レポートなど）をしましたか	4	6	11	5	3	3.10	3.42
問3．	授業を受講する前に授業概要を確認しましたか	4	4	14	3	4	3.03	3.37
問4．	授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	6	2	15	5	1	3.24	3.16
B:学習環境について								
問5．	教室の設備環境（広さ、明るさ、外部からの雑音、実習器具など）は適切でしたか	13	9	6	1	0	4.17	4.13
問6．	受講学生数は（講義受講者数、演習・実習時の教員数など）適切でしたか	13	9	6	0	1	4.14	4.09
C:授業内容・方法・成果について								
問7．	授業は系統的に整理、準備されていましたか	11	11	7	0	0	4.14	4.06
問8．	授業内容は理解しやすかったですか	8	9	9	2	1	3.72	3.85
問9．	授業中に質問しやすい環境でしたか	10	7	9	2	1	3.79	3.58
問10．	教員が指定した教科書や参考書、教材や資料が適切で工夫がみられましたか	9	10	7	2	1	3.83	3.84
問11．	黒板の書き方、ビデオやスライドの使用は適切でしたか	11	9	9	0	0	4.07	3.84
問12．	授業中に声が十分に行き渡っていましたか	16	8	3	1	1	4.28	4.16
問13．	教員は授業中の静寂を保つために適切な配慮をしていましたか	11	8	8	2	0	3.97	3.97
問14．	授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	12	5	8	4	1	3.77	3.91
問15．	授業概要または授業始めに提示された到達目標は達成されましたか	10	9	9	1	0	3.97	3.87
問16．	授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	11	7	8	3	0	3.90	3.87
D:授業の全般的印象								
問17．	教員の熱意を感じましたか	17	8	4	0	0	4.45	4.14
問18．	この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	12	10	6	1	0	4.14	3.98
問19．	総合的に判断すると満足できる授業でしたか	13	7	8	1	0	4.10	3.99

学生へのメッセージ

1．授業で用いた教科書・『臨床歯科医学・口腔外科学』は顎・顔面・口腔の役割に関して，「構音」と言う観点から纏められた実践的・臨床的な内容となっています．従って，理解・認識するためには何回も，何回も復習することが非常に重要となります．
2．今回の授業に関して，パワー・ポイントの講義資料を講義する1週間前に学生の皆さんに渡すよう心がけました．教科書をベースにはしていますが，全く同じではありません．従って，特に予習は重要です．
3．授業以外に各種の資料も渡しましたが，これらの講義資料や各種資料などを消化するのに臨床的経験も必要となります．
　言語聴覚士となった後の臨床的現場で見直して下さい．

レーダーチャート



総合評価